



9月保育所だより



令和元年9月号
北部保育所
Tel 0853-68-0106
090-5706-2898

この夏、子ども達は水にしっかりと親しみ楽しさを満喫していたように感じます。かもめ組は、友だちと水をかけ合ったり、顔付けはもちろんのこと、水にもぐってフープをくぐったりなど、ダイナミックに遊んでいました。もも組は、ワニ泳ぎや顔付けをしたり、容器を使って水を移し替えながら水の面白さを味わったりしていました。開放的に遊び、また少したくましくなったように感じます。

さて、今月は運動会を楽しみにしながら、気持ち良く体を動かして遊べるようにしたいと思います。子どもたちの成長を保護者の皆さんと一緒に喜び合う、大切な機会となるように計画をします。一人一人が十分な力が発揮できるよう、体調管理などのご協力をどうぞよろしくお願いします。

○保育目標 運動あそびを楽しもう

運動会を楽しみにしながら「走る・跳ぶ・登る・くぐる」など子どもたちの発達に合った様々な体の動きを経験し、楽しさや気持ちよさが感じられるようにします。また、勝っても負けても最後まで一生懸命に取り組もうとする気持ちが育まれるよう支えます。

○生活目標 身の回りの始末を丁寧にしよう

かもめ組は、水道の蛇口がきちんとしまっているか、トイレがきれいに使えているか、脱いだ服がたためているかなど、身の回りのことを振り返り、丁寧にできるようにしていきたいと思います。

もも組は、タオルやコップの片付けを保育士と一緒にしたり、自分ですりゃうしたりできるように年齢に合った関わりを心がけます。



中部保育所の友だちと一緒に愛宕山プールで遊びました。(ふし組)



ワニ泳ぎ、上手でしよ！(もも組)



ピーマンやトマトなどの夏野菜がたくさん収穫でき、翌日のクッキング(夏野菜カレー)に使用しました。(かもめ組)



9月生まれのお友だち

やまおか れおさん(6さい)
かねつき りたさん(6さい)
まつむら いおりさん(2さい)
おめでとうございます！



お知らせ・お願い

保育参加・子育て講演会について(7日)

今年度は、親子で一緒に体を動かして遊べる内容にしました。その後は、朝食の大切さについてお話を聞いてもらったり試食をしたりします。

平田中学校職場体験について(17日～19日)

3年生の生徒が2名来所し、3日間子どもたちと一緒に過ごし、保育所の仕事を体験します。

地区民体育祭参加について(29日)

佐香地区民体育祭に子どもたちと保護者が参加します。9:40に集合し、『あいうえおんがく』の曲に合わせて親子体操をする予定です。ご協力をよろしくお願いします。

履物について

9月からは散歩に出かける機会が増えますので、ズックを履いて登所しましょう。



ご寄贈ありがとうございました

- 保護者様～トマト
- 保護者様・地域の方～すいか(たくさんの皆様にいただきました。)
- 地域の方～天草
- 地域の方～カブトムシ



9月の行事予定

- 2日(月) おあつまり会
- 4日(水) だんだんクラブ(大根種まき)
- 5日(木) 身体測定
- " わがとこTV
- " 「元気いっぱい平田っ子」取材
- 6日(金) 弁当の日
- 7日(土) 保育参加・子育て講演会
- 10日(火) 陶芸教室<佐香っ子デー>
- 12日(木) 土砂災害予防学習会
- " すまいるデー
- 13日(金) 布団持ち帰り
- 16日(月)(祝) 敬老の日
- 17日(火) 避難訓練
- " クッキング(肉みそうどん)
- 17日(火) ～19日(木) 平田中学校職場体験
- 18日(水) 保育所開放日
- 19日(木) 絵手紙教室<佐香っ子デー>
- 20日(金) 集金日
- 23日(月)(祝) 秋分の日
- 24日(火) 巡回相談
- 25日(水) 誕生会★
- " 北部子育て応援倶楽部
- 27日(金) 布団、外ズック持ち帰り
- 29日(日) 地区民体育祭※

※後日お便りにて詳しくお知らせします。

★ミニ保育参加の日

10月の主な予定

- 5日(土) 運動会、保育所開放日
- " だんだんクラブ
- 8日(火) 一日保育士(野外クッキング)

子育てエール

おもしろい絵本とは？(松岡享子さんインタビューより)

雑誌「母の友」より抜粋

(前略)言ってみれば感動、心が動く、ということでしょうか。ですから、おもしろい絵本というときは、笑えるものであれ、手に汗にぎる冒険ものであれ、涙を誘う悲しいものであれ、心の深いところにまで響く絵本、といった意味で使っています。(中略)

「おもしろい絵本」は「心に残る絵本」とも言えるかもしれません。大人になってからも、ふと思い出したり、力を与えてくれたりするような絵本。ただ、子どものときは、その本が自分の心に後々まで残るかどうかはわからないのですけれどね。

また、出会う本の全部が全部心に残るものである必要はないと思いますが、幼い頃にできるだけ多くそうした絵本や物語に出会ってほしいと思っています。子ども時代は、これから先、生きていくための「もと」を蓄える時期ですから。

後々まで心に残るような、おもしろい絵本を探す一つの方法として、時代を超えて残ってきた絵本を探すとい、ということで、「ピーターラビットのおはなし」「ペレのあたらしいふく」などが紹介されていました。

子どもだけでなく、読む大人もおもしろいと思える絵本を親子で一緒に探してみたいはかがでしょう。